

まきひと カルデアの牧人 ～校長だより～ No.3

自分の弱み、自分の強み

大人になると誰しも「自分なりの勉強方法」というのを自然と身につけているのではないかと思います。高校生になったばかりの1年生は自分にあった授業の受け方がまだわからなかったり、これからむかえる期末テストへ向けての勉強方法などに不安を抱えていたりする人も多いかもしれません。そんなタイミングで今日は1年生に向けて「自分の特性に気づき、それぞれにあった学習や生活の仕方を考える」ことを目的とした特別授業が行われました。



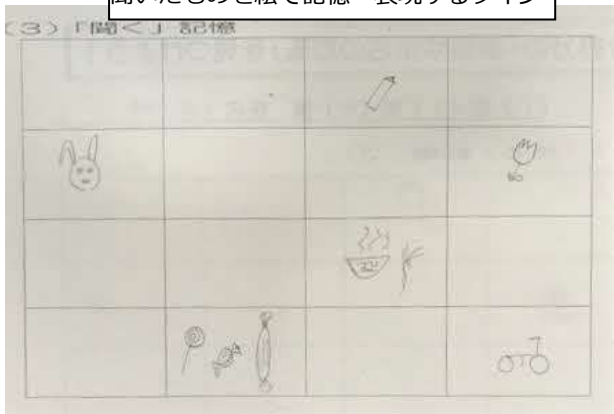
講師は島根大学教育学部附属学校生活支援研究センターの宮崎紀雅先生。授業2時間分を使った講演会でしたが、最後に宮崎先生から「非常に集中力がある学年」と言っていただくほど生徒の頭がフル回転した密度の濃い時間となりました。

まずは手を組んだり、腕を組んだりして右脳派か左脳派かのチェックからスタート。今年の1年生は思いの外「右脳」派が多く、視覚的に絵や図で覚えたりまとめたりが得意な人が多いことがわかりました。そして次々と覚え方や見え方、聞き方の特性がわかる簡単なテストが行われ、「え!!私それ!」とか「わかった!!」「え～、全然わからん」といった生徒の活発な声が飛び交い、理想的な教室の状況が作り出されていました。

最後にチェックシートで自分の学習スタイルが「視覚(ビジュアル系)」か「聴覚(オーディトリー系)」か「運動感覚(キネスティック系)」なのかを点数化し、どれに該当するか、またはこれらの複合系なのかといった「自分の弱みと強み」を把握しました。弱みについてはそれを認め合い、強みはしっかりと生かし、出し合っていく。そんなクラス、学年になってくれることを願っています。

今後、家でいつもと違った勉強方法をしている子どもさんの姿があったら、それは今日の講演をしっかりと吸収した証。「あなたは何系だった?」と声をかけてみてください。ちなみにノートを斜めにして字を書く生徒を結構見かけますが、あれも本人は頭の中でちゃんと水平をイメージしているとか。つくづく人の特性を認め合うことの難しさを感じます。

聞いたものを絵で記憶・表現するタイプ



聞いたものを文字で記憶・表現するタイプ

